



明石市立江井島中学校通信

しまっこが宝

令和2年
(2020年)
6月1日
第4号

学校長 植垣 文夫

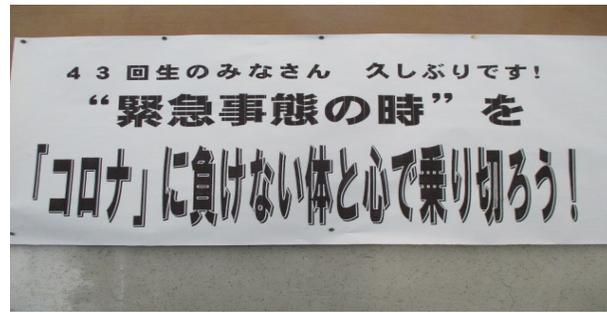
生徒のみなさんを迎える校内の学年掲示物について

各学年の先生方が臨時休校中に手作りし、生徒のみなさんを迎えるために工夫を凝らした掲示物を校内のいろいろなところに準備しました。

まずは、42回生（第3学年）のフロアに掲示してある学年目標です。2階西側手洗い場上の掲示板と東階段の上にある2種類です。「『なりたい自分』になるためのチャレンジ!!」です。これは難しい言葉で言いますと「自己実現」ということになります。「自己実現」は未来を切り開いていく力の原動力です。「自分ってなかなかいけてるやんか。」と思える「自己肯定感」を高め、「自己決定力」を身につけてまいりましょう。



次は、43回生（第2学年）のフロアに掲示してある学年目標です。学年目標「みんなでみんなを～支え高め合える43回生～」 「43回生のみなさん 久しぶりです！ 緊急事態の時を「コロナ」に負けない体と心で乗り切ろう！」です。「みんなは一人のために、一人はみんなのために」はラグビー精神の神髄ともいえる言葉ですが、43回生のみなさんも一人じゃないんだ、仲間がいるんだ、と誇らしく思える集団を形成していきましょう。



それでは、44回生（第1学年）の学年目標です。2階へあがる階段の踊り場にある掲示板に掲げてあります。「第44回生学年スローガン 幸せになろう ～Challenge～ 思いやりの心を持ち、お互いに高めあえる仲間になろう どんなことにも懸命に楽しく取り組もう」です。

幸福の象徴である四葉のクローバーとかわいいテントウ虫さんが向かい合ってクローバーに留まっています。



休校期間中の登校可能日の様子

登校可能日の5/25（月）に、体育館で学年集会をしている44回生の皆さんを見に行きました。生徒は、お互いに前後、左右の間隔を十分にとって座っていました。窓は開放されていて心地よい風が入ってきていました。切山先生は3年生の所属ですが、全体の生徒指導担当をしています。切山先生から学校生活で注意することなどについてお話していただきました。1年生のみなさんは、顔をあげて先生の言葉に聞き入っていました。

新しい図書の紹介

休校に入る前に生徒の皆さんには、校内放送により、「学校から出される課題以外にも自分で取り組めることとして、読書をしましょう。」とお伝えしました。私も新刊やこれまでに読んだ図書の読み直しに取り組みました。ついつい大好きな歴史小説やミステリーに手がいてしまいました。学校でも皆さんに読んでいただきたい図書を新しく取り寄せています。新しい生活様式に注意しながら、時間を見つけて図書室を活用してください。今後、生徒会の専門委員選出があります。もし、あなたが図書委員になられたら、本校の読書活動推進にぜひとも力を貸してください。お願いします。



「江井島・地域ヒストリー アカテガニの神様」冊子について

（江井島まちづくり協議会様より全校生徒に寄贈）

5月28日にまちづくり協議会様より全校生徒数の上記の冊子をいただきました。江井島の町の生い立ちが1万年前からの歴史をたどって現在に至るまで書かれています。悠久の時の流れを、赤根川に住むアカテガニが見守ってきたという設定です。当時の人々の生活の様子が丁寧に着色された挿絵で理解することができます。著者の南明（みなみあきら）さんは、「江井島で暮らしてきた幾代にも渡る先人と空想的ロマンでつながる時、自分が励まされ、地域の歴史的パワーをもらえるような不思議な気分になるかもしれません。」と話されています。わがまち、江井島の成立をこの冊子で知ってもらえたらうれしいです。江井島まちづくり協議会のみなさま、ありがとうございます。全校生徒に配付して、朝の読書活動などを利用し各人の読後の感想などを聞いてみたいと思います。